

弘前大学教育学部研究紀要

# ク ロ ス ロ ー ド

第 27 号(通巻第67号)

## CROSSROADS

Journal for Educational Research  
Published by the Faculty of Education  
Hirosaki University

No. 27 (Old Series 67)

March 2023

2023 年 3 月

弘 前 大 学 教 育 学 部

Hirosaki, Japan

# 目 次

## 研究論文

- 高等学校国語科における文章表現の授業  
—トータルミンモデルの理由づけと  
裏づけに着目した実践— …………… 青 木 雅 俊, 他 (1)
- 統合的・発展的に考察する力を養うことを意図した問題づくりに関する授業実践  
—「カレンダーの問題」を原題として— …………… 濱 谷 修, 他 (11)
- 体力向上に向けた体づくり運動の授業改善の実際 …………… 上 野 秀 人, 他 (21)
- 生活時間と赤ちゃん人形のお世話体験を教材とした  
授業の有効性 …………… 加 賀 恵 子, 他 (33)
- 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校中学部保健体育科の  
武道における少林寺拳法指導プログラムの開発  
—特別支援学校（聴覚障害）における実践を通して— …… 天 海 丈 久, 他 (43)
- 学校における救急処置に関する実践的研究  
～医療用医薬品と一般用医薬品の管理・  
使用の現状と課題～ …………… 新 谷 ますみ, 他 (53)
- ICT を活用した健康観察の成果と課題  
～新型コロナウイルスの感染予防への  
対応を見据えて～ …………… 本 間 史 祥, 他 (63)
- SOS の出し方に関する教育を充実させるための基礎的検討  
—被援助志向性とストレスマネジメント教育に  
焦点を当てて— …………… 吉 原 寛 (73)
- 社会参画の意識を高める授業の開発  
—ドラマ技法を用いたレリバンスのある学びを通して— …… 福 井 操 (81)
- 道徳科授業力向上に向けての教員研修のあり方についての考察 2  
～2 パターンのローテーション TT 道徳の比較から～ …… 佐々木 篤 史 (89)
- 知的障害児に対する保健体育科授業における  
バーチャルリアリティーゴーグル活用の可能性  
～武道, なかでも剣道を題材として～ …………… 中 嶋 実 樹, 他 (97)

## 記 録

- 教育実践協同研究推進委員会活動記録 …………… (105)
- 2022年度（令和4年度）研究会名簿 …………… (107)
- 研究会活動記録 …………… (108)
- 教育実践協同研究通信 …………… (112)

# 弘前大学教育学部研究紀要クロスロード刊行および投稿規定

弘前大学教育学部教育実践協同研究推進委員会

## 投 稿 規 定

1. 本誌には教育実践に関する研究論文並びに報告、紹介などを掲載する。
2. 発行は原則として毎年3月の年1回とし、A4判約150ページとする。
3. 原稿募集の時期は10月とし締め切りは概ね1月末とする。
4. 論文の著者には本学部または附属学校園の教員が含まれていなければならない。
5. 原稿は、別に定める執筆要領に従って作成するものとする。
6. 論文等は、原則として、図表（写真、楽譜などを含む）を含めて、1編につき刷り上がりで10ページ以内とする。
7. 掲載順序など編集に関することは、本委員会が決定する。なお、論文等に関して疑義などが生じた場合、本委員会は著者と協議し必要があれば著者に修正を求めることがある。
8. 校正は原則として著者が行い、3校までとする。校正は印刷上の誤りの訂正のみとし文章や図表の差し換え、追加などは認めない。
9. 超過ページ、カラー図表などの印刷について、特に費用を要するものはその著者の負担とすることがある。
10. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とする。
11. 別刷を希望する場合は投稿の際に必要な部数を申し出る。料金は別に定め、経費は著者が負担する。
12. 以上の年1回の定期発刊の他、特集号を発行することがある。特集号は、拡大編集委員会を組織し企画および編集にあたるものとする。
13. 本誌に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、論文は「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開するものとする。

この規定は、2020年10月1日から施行する。

## 執 筆 要 領

1. 提出原稿には、表紙、要旨本文及び引用・参考文献が揃っていないといけない。
2. 表紙には、論文等の表題、著者名及び所属を和英両語で記載する。なお、英語にかえて、他の汎用性の高い言語で記載してもよい。
3. 要旨は本文の前に入れ、和文の場合は400字以内、欧文の場合は120語以内とする。
4. 原稿は、原則として、A4判の縦置き横書きとしワープロを使用して作成する。和文の場合は文字10.5ポイント、1ページあたり48字46行、上下、左右の余白は20mmとする。欧文の場合も1ページ46行を原則とする。原稿は図表を組み入れたPDFファイルと編集可能な電子ファイル（Word、一太郎など）の両方を提出する。メディアと提出方法は編集担当者が別に定める。
5. 文献の引用は、原則として本文中の該当箇所の右肩に片括弧付き番号をつけて表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の表題、雑誌名、巻号、ページ、発行年を、単行本の場合は著者名、書名、出版社、ページ、発行年を記載する。
6. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を電子ファイルで添付する。

## 投稿にあたって

(2022年12月5日追記)

投稿にあたっては、以下の【覚書】にある項目のチェックを行ってください。

### 【覚書】クロスロード投稿に関する覚書

クロスロードの投稿にあたっては、次のチェックを行ってください。

- 引用が盗用、剽窃に当たらないように適切に行われていますか。
- 引用文献等が文末に適切に示されていますか。
- プライバシーの保護に関し、写真や資料等の掲載の許諾が適切に行われていますか。
- アンケート等をとる場合は、利用目的を示して回答者の合意を得ていますか。
- 要配慮個人情報等を取り扱う場合は、研究対象が特定されない等の情報の適切な秘匿・加工等が行われていますか。また、学内倫理委員会の審査を経ていますか。

このチェックは、投稿論文の査読をするものではなく、クロスロードの電子化にあたって、プライバシーの保護、著作権の保護を適切に行えるようにするためのものです。

附属学校の先生のみでの投稿される場合等で、不明のことがあれば、該当する学問分野の学部教員・教職大学院教員にご相談ください。

該当する学問分野の教員が見つからない場合、投稿にあたって不明なことがあれば、投稿の前に協同研推進委員会にお問い合わせください。

編集

教育実践協同研究推進委員会

広報・情報発信班

佐藤 崇之（教育学部） 代表

松山 祐子（附属幼稚園）

佐藤 一幸（附属小学校）

藤元 公德（附属中学校）

加賀谷 紀（附属特別支援学校）

弘前大学教育学部研究紀要

ク ロ ス ロ ー ド

第 27 号（通巻第67号）

（2023年 3 月）

令和 5 年 3 月24日発行

編集兼発行者

弘 前 大 学 教 育 学 部

弘前市文京町1番地

電話（0172）36-2111(代)

印刷所 やまと印刷株式会社

弘前市神田4丁目4の5

電話（0172）34-4111

# CONTENTS

## PAPERS

- Class of sentence expression in high school Japanese language course  
—Practice Focusing on Warrant and Backing  
the Toulmin Model— ..... Masatoshi AOKI et al ( 1 )
- Lesson Practice Related to Problem-Posing Intended to Cultivate  
the Ability to Think an Integrated and Developmental Manner  
~With the Original Problem as  
“the Problem of the Calendar”~ ..... Osamu HAMAYA et al (11)
- Improvement of “physical exercise” classes  
to build more physical strength ..... Hideto UENO et al (21)
- The efficacy of teaching with the life time and the experience  
of caring for a baby doll as teaching materials ..... Keiko KAGA et al (33)
- Development of the *Shorinji Kempo* Martial Arts Program Conducted  
in the Lower Secondary Department’s Health and Physical Education Class  
of a Special Needs School That Educates Students with Intellectual Disabilities:  
Through Lessons and Practice in a Special Needs School  
for Hearing Impaired Children ..... Takehisa AMAGAI et al (43)
- Practical Research of First Aid in School  
~ The Present State and Issues of Safekeeping and Use  
of Medicinal drugs and Over-the-counter drugs in School ..... Masumi ARAYA et al (53)
- Achievements and Challenges of Health Inspection Utilizing ICT  
~ Prevention under the COVID-19 ~ ..... Fumiaki HONMA et al (63)
- A Basic Study for Enhancing Education on How to Send SOS:  
Focus on Help-Seeking Preferences  
and Stress Management Education ..... Hiroshi YOSHIHARA (73)
- Development of classes to raise awareness of social participation  
Through relevant learning using drama techniques ..... Misao FUKUI (81)
- Consideration on the ideal way of teacher training to improve  
moral-education teaching ability 2  
~ Through comparing two patterns of  
“Rotation TT moral-education” practice ~ ..... Atsushi SASAKI (89)
- Possibility of Utilizing Virtual Reality Goggles in Physical Education Classes  
for students with Intellectual Disabilities:  
The Case of Budo, especially Kendo ..... Miki NAKAJIMA et al (97)

## RECORDS

..... (105)